

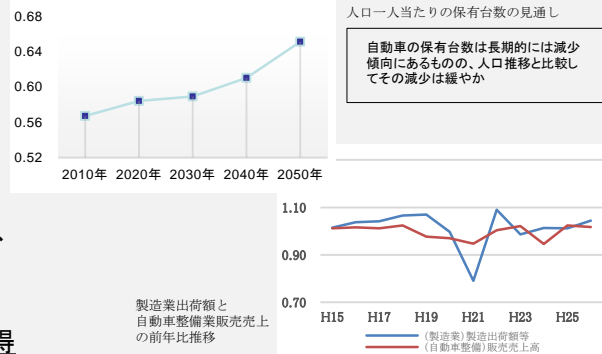
自動車整備人材の確保・育成に関する検討会とりまとめ概要

自動車整備業の実態調査や他産業との比較等の分析・検討から、**自動車整備業の魅力・重要性、自動車整備業の実態及び人材確保・育成のための課題、課題に対応する先進的取組事例**についてとりまとめた。

今後、とりまとめられた整備業の魅力・重要性、実態や課題、先進的取組事例を**業界全体で共有し、事業形態・規模等に応じた対策を関係者が連携して検討・推進**を図る。

自動車整備業界・整備士の魅力・重要性

- 今後も必ず必要となる点検・整備需要を背景とした安定した業態
 - ・全国で約8千万台以上が保有され、その台数は緩やかに推移する傾向を維持。
 - ・自動車の点検・整備需要は、安定的に発生し、景気動向等による影響が比較的少ない。
- 自動車の利用に係る安全・安心や利便性を確保することを通じた地域社会への貢献による満足感・達成感
 - ・自動車整備士は、適切な点検・整備により、自動車の安全と安心を守り、社会に貢献する重要な職種。
 - ・自動車整備士は、自動車の構造や整備に関する知識や技能を持っていることを国が認めた国家資格であり、国内の整備技術の水準を保っている。
 - ・特に自動車への依存度の高い地方部において日常生活の足を守る地域に密着した頼られる存在。
- 技術革新の著しい自動車を扱うことによる自動車整備のスキルの習熟を通じた最先端技術に係る知見の獲得



実態・課題

- 給与・労働時間等に対して低い等から他業種と比較して給与に対する不満度が高い
 - ・専業事業者等では、ディーラーに比べ、年齢が上がっても給与が上がりにくい
- 労働時間・休日・休暇
 - ・労働時間が長く、調整ができないことから他業種と比較して不満度が高い
 - ・休日出勤や希望する日に休みが取りづらく他業種と比較して不満度が高い
- 作業環境
 - ・設備の老朽化、コミュニケーションのとりづらさが不満理由の上位
 - ・女性進出の課題として「体力面」があげられる事業者が約半数
- やりがい
 - ・他者の力になった時や修理した時の達成感はあるがやりがいの満足度は低い
- 技能向上・最新技術等の研修に関する従業員のニーズへの対応が不十分

先進事例

- 様々な能力の評価に対応したインセンティブ付与
 - ・僅かでも定期昇給を実施(給与の上がる道筋を見せる)
- 管理職において余暇の充実を図るよう意識改革を実施
 - ・残業削減及び育児等との両立のための柔軟なシフト設定
- 体に負担の少ない器具の導入等可能な範囲からの環境改善
 - ・社員意見の有効活用によるコミュニケーションの活発化
- 社内独自資格制度の創設によるモチベーション維持
 - ・店舗間のスタッフ入れ替えによる新たな着眼点の発見
- 基礎技能教育と独自ニーズを加えた高度な教育の両立
 - ・高卒を採用し、整備学校へ通学させる

今後の検討の方向性

- 自動車整備業の実態及び課題を業界団体、個々の事業者間で共有
- 自動車整備業、自動車整備士の重要性や魅力についての説明等、理解を図る活動を継続して実施
- 先進的な取組事例の共有等による事業形態・規模・環境に応じた実効性ある対策など、引き続き業界団体・関係者が連携して検討

国土交通省

- 整備業界の社会的重要性、将来性の社会的認知の醸成
- 体験学習・インターンシップの業界への啓発
- 女性も使いやすい工具・機器の調査
- 最新技術に対応した整備を行うための汎用スキャンツールの標準仕様拡大等による整備環境の充実
- スキャンツールを活用した教育体制、カリキュラムの策定等

業界団体

- 実態と課題の業界内で共有
- 整備業界に対する理解を広げるための体験学習やインターンシップ等の推進
- 労働環境、待遇改善に対する先進的な取組事例の収集、展開
- 最新技術対応など、従業員の要望に応じた研修の実施等

整備事業者

- 先進事例を参考とした事業形態・規模等に応じた待遇改善の実施
 - 能力評価に応じた昇給等による給与と満足度の向上
 - シフト制等による希望に応じた勤務時間・休日の確保
 - 比較的簡易なものから工場内の環境改善の実施
 - 女性も作業しやすい設備・機器等の環境整備
 - 経営者や職場間のコミュニケーションの構築等

自動車整備人材の確保・育成に関する検討会

1. 背景・目的

自動車整備人材の確保・育成については、平成26年4月にとりまとめた対策の方向性において、整備業における給与、休暇、作業環境、やりがい等の労働環境、待遇の改善や女性の活用が課題として挙げられている。

これらの対策事項について、有識者や関係業界、関連の諸機関や企業等の意見を聞きながら、広い視野で総合的に検討するために、標記の検討会を国土交通省自動車局に置き、具体的な対策の方向性についてとりまとめることとする。

また、本検討会では、整備人材の確保・育成に必要な労働環境や働き方の改善等に係る様々な対策に関する関係業界等における共通の認識やパートナーシップを醸成することも目的とする。

2. メンバー構成

- | | | |
|----------|---------|----------------------------------|
| ① 有識者 | :大聖 泰弘 | 早稲田大学大学院創造理工学研究科 教授 |
| ② 有識者 | :酒井 一博 | (公財)大原記念労働科学研究所 所長 |
| ③ 有識者 | :市川 優 | 株式会社日刊自動車新聞社 代表取締役社長 |
| ④ 有識者 | :宇佐川 邦子 | 株式会社リクルートジョブズ ジョブズリサーチセンター センター長 |
| ⑤ 有識者 | :久保田 純子 | ダイハツ東京販売株式会社 (現役女性整備士) |
| ⑥ 整備業界 | :木場 宣行 | (一社)日本自動車整備振興会連合会 専務理事 |
| ⑦ 販売業界 | :林 義高 | (一社)日本自動車販売協会連合会 理事 |
| ⑧ 製造業界 | :内藤 政彦 | (一社)日本自動車工業会 常務理事 |
| ⑨ 整備専門学校 | :松浪 良樹 | JAMCA理事(トヨタ東京自動車大学校理事・校長) |
| ⑩ 自動車短大 | :森本 一彦 | 全国自動車短期大学協会 専門委員(中日本自動車短期大学教授) |
| ⑪ 国土交通省 | :板崎 龍介 | 整備課長 |

3. 検討事項

- ① 整備士の労働環境、待遇の現状、課題の把握
- ② 自動車整備業就労者以外からみた整備業のイメージの把握
- ③ 待遇改善に係る先進事例及び女性整備士等が活躍している好事例の収集
- ④ 自動車整備業の人材不足対策における今後の取組みの方向性の検討